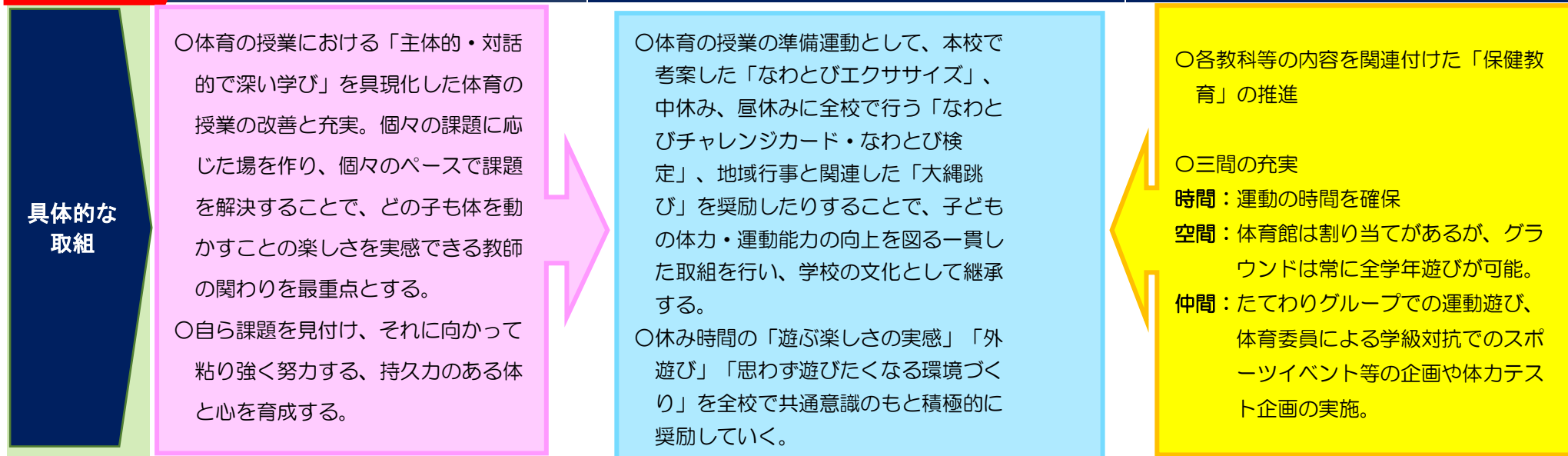


令和8年度「健やかな体」育成プログラム

学校番号：25508
学校名：清田緑小学校

	令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 結果	分析
体力・運動能力 <男子>	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「長座体前屈」は、全国・札幌市の平均よりも高い。しかし、それ以外の項目では全国・札幌市の平均よりもやや低い。特に、反復横跳びでは平均を大きく下回っている。	体力や筋力を高める運動を充実させる必要がある。なわとび活動等にさらに継続的に取り組むことで体幹、バランス、持久力の向上を図る。
体力・運動能力 <女子>	全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、「長座体前屈」「立ち幅とび」「50m走」では全国・札幌市の平均よりも高い。「20mシャトルラン」では札幌市の平均値とほぼ同率だが、それ以外の項目では全国・札幌市の平均より下回っている。	瞬発力、敏捷性、地面を蹴る力などは、跳ぶ運動の成果が見られる。なわとび活動等にさらに継続的に取り組むことで体幹、バランス、持久力の向上を図る。
運動・スポーツへの意識、運動習慣	特に男子は運動系の習い事に通っている児童が多く、中学校でも部活動で運動をしたい児童が札幌市平均に比べ高い。しかし、1日のテレビやDVD、ゲーム機、スマートフォン、パソコンなどの画面を見ている時間が札幌市・全国の平均を男女共に上回っており、「運動は大切である」という意識の低下がみられる。	体育の授業の中で、運動の楽しさや大切さを知ることができるよう、個々の課題に合わせた目標を設定し、場の工夫をする。家庭とも連携し、子どもたちの健やかな生活習慣を整える。

三つの取組	①体育・保健体育等の授業の充実	②授業以外で子どもの運動機会を創出する取組	③子どもが自らの健康づくりを図る取組の充実
-------	-----------------	-----------------------	-----------------------



家庭・地域との連携・協働

○毎年取り組んでいる「雪かきチョボラ」を家庭や地域と連携していく。